

## 19人の 地域防災リーダーが誕生

**自**主防災組織の一員として防災に関する中核的な人材を育成するため、昨年10月から4回にわたって「地域防災リーダー養成講座」を開催し、19人が受講しました。この講座では、田川市災害対応ガイドブックを使い、日頃の備えやハザードマップの見方、防災情報の入手方法などを学習。また、グループに分かれて高齢者の避難をテーマに意見交換を行うなど、地域防災への理解を深めました。

受講生からは「ガイドブックや避難訓練の重要性がわかった」「自らの地域は自ら守るということを強く感じた」という感想が寄せられた一方で「地域防災リーダーの位置付けや役割が分からない」「女性の参加が必要」などの意見がありました。

市では、今後もより充実した講座となるように、内容や募集方法の見直しを行っていきます。本年度の講座の開催などは、市ホームページや広報紙などでお知らせします。



## 災害対応 ガイドブックの活用

**自**らの命や大切な人の命を守るためには、何よりも事前の備えが大切です。昨年3月に作成した黄色い表紙の「田川市災害対応ガイドブック」では、彦山川や中元寺川、金辺川などが氾濫した場合に、どの区域がどのくらい浸水するのか、色分けして分かりやすく表示しています。また、がけ崩れや土石流などが起こりやすい区域、堤防が決壊した場合に人的被害のおそれがある「防災重点ため池」の位置も示しており、自宅の近くの危険性を把握できるようにしています。さらに、避難場所や避難に必要な時間、避難を始めるタイミングなど家族で決めたルール（マイタイムライン）を書き込める工夫も取り入れています。

いつ起こるのか分からない災害に備えて、普段からガイドブックを活用しましょう。

## 情報の収集

**メ**ール配信や防災アプリなどを活用し、市からの緊急情報を確実に入手しましょう。

### ■防災メール・まもるくん

福岡県が配信するメールサービスです。気象庁が発表する地震、台風、大雨などの情報、市が発令する避難に関する情報などを入手できます。



### ■Yahoo! 防災速報

ヤフー株式会社がスマートフォンなどのアプリを使ってお知らせするサービスです。豪雨予測、市からの緊急情報などを確認できます。



### ■テレビ

地上デジタル放送中にリモコンのd(データ)ボタンを押すと、気象情報や市からの避難情報を見ることができます。

### ■防災行政無線音声案内

放送が聞き取れないときは電話や市ホームページで確認できます。

ヤクショ ニイコウ  
☎0120-894-215(無料)



## 避難所における 感染防止対策

**災**害が発生したとき、または発生するおそれがあるとき、避難所には多くの人が集まるため、3密（密集、密接、密閉）の状態が発生しやすくなります。そこで、市では昨年から新たな避難所を確保するとともに、避難所内での検温、マスクの着用、手指の消毒、避難者同士の距離の確保など基本的な感染防止対策に取り組んできました。引き続き避難所における感染防止対策を徹底しますので、いざというときは安心して避難してください。

また、台風の接近や数日後に大雨が予想される時など時間的余裕がある場合は、避難所での3密を避けるため、安全が確保された親戚・知人宅、ホテルなどの利用を検討しましょう。

## 防災特集

# みんなで備えて みんなが安心

初夏から秋にかけて、台風や前線などの影響で、大雨、暴風などによる被害が発生しやすくなります。地球温暖化の影響で気象現象はますます激化するとされており、本年も最大限の注意が必要です。「いざ」というとき、災害からあなたや大切な人の命を守るのは、日頃からの備えです。「田川市災害対応ガイドブック」を活用し、早めの避難を心がけましょう。



## 避難勧告が廃止され避難指示に一本化

**市**と気象庁が発表する警戒レベルは、洪水や土砂災害の発生度合いを5段階で示したもので、市民のみなさんに行動を促す情報と、その情報をもとに取るべき行動を関連付けたものです。これまで、警戒レベル4に「避難勧告」と「避難指示(緊急)」が一緒に位置付けられていましたが、本年度から「避難勧告」が廃止され「避難指示」に一本化されました。市から「警戒レベル4、避難指示」が発令されたときは、危険な場所にいる人は全員避難してください。

また、警戒レベル3「避難準備・高齢者等避難開始」

の名称が「高齢者等避難」へ、警戒レベル5「災害発生情報」の名称が「緊急安全確保」へ変更となりました。市から「警戒レベル3、高齢者等避難」が発令されたときは、避難に時間がかかる高齢者や障害のある人とその支援者は、危険な場所から避難しましょう。「警戒レベル5、緊急安全確保」は、すでに災害が発生しているか、災害の発生が切迫しており、命をおびやかす危険な状況と考えられます。ただし、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。警戒レベル4までに確実に避難するよう心がけてください。

## 警戒レベル一覧

警戒レベル	市民のみなさんが取るべき行動	市民のみなさんに行動を促す情報	発信者	サイレン吹鳴
高 5	命の危険があるため直ちに身の安全を確保する。ただし、安全な場所への移動がかえって危険な場合は、命を守るために最善と考えられる行動をとる。	緊急安全確保 △災害発生または切迫	田川市	30秒間
4	危険な場所にいる人は安全な避難場所へ全員避難する。浸水が想定され移動がかえって危険な場合は、自宅や近くの堅固な建物の上階へ避難するか、上層階にとどまる。	避難指示 △災害のおそれ高い	田川市	30秒間
3	高齢者など避難に時間がかかる人とその支援者は避難する。その他の人も必要に応じ外出を控えたり、避難の準備を整えたりする。身の危険を感じたら早めに避難する。	高齢者等避難 △災害のおそれあり	田川市	
2	避難に備え「田川市災害対応ガイドブック」で避難場所や避難経路を確認する。	大雨注意報 洪水注意報	気象庁	
低 1	気象情報に注意して、災害への心構えを高める。	早期注意情報	気象庁	